

東濃農林事務所の普及活動状況

令和6年2月

今月の重点活動

■土岐地区農業普及事業推進協議会 農業普及活動発表会を開催

東濃農林事務所は、2月20日、東濃西部総合庁舎において土岐地区農業普及事業推進協議会と共催のもと6年ぶりとなる農業普及活動発表会を開催した。東濃管内の農業者や関係機関等、約70名の参加者があり、普及活動の普及活動の成果や課題について共有、検討した。

農業普及課からは、最近の担い手育成に向けた取組み、暑さに負けない米づくり、水稲べんモリ直播栽培の導入の3課題の報告を行った。

つづいて、農業機械メーカー担当者から「スマート農業の現状と今後の展開」と題して講演いただいた。中山間地域での取組みを中心に、画像や動画を用いて最新のスマート農業技術の紹介があり、参加した農業者からは「映像がありイメージがわいた」との感想があった。

今後も地域農業の課題解決に向け、スマート農業など新しい技術を取り入れながら、関係機関と連携のもと取組みを進めていく。



【農業普及活動発表会の様子】

■土岐地区農業普及事業推進協議会 営農連絡会議を開催

土岐地区農業普及事業推進協議会（構成員：市、JA、農林事務所）は、2月26日、JAとうと本店において営農連絡会議を開催した。

これは、年に2回、関係者が一堂に会し地域農業の発展に向けて情報交換をするものであり、今回は新年度の対応についてそれぞれ説明した。

農林事務所からは、県施策についてや普及指導計画（案）の具体的内容、就農連携、さらにはスマート農業推進の状況について説明し、いずれも関係機関が連携し対応することを確認した。

今後も、定期的な打ち合わせを通じて相互理解を深め、効率的で効果的な事業推進に努める。



【営農連絡会議の様子】

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■担い手リーダー 青年農業士能力向上セミナーを東濃で実施

令和5年度の岐阜県青年農業士連絡協議会能力向上セミナーが、2月14日、東濃ブロックの当番で瑞浪市を中心に開催され、県下各地から青年農業士が7名のほか関係農林事務所等の担当者が参加した。

セミナーでは、東濃管内の2名の青年農業士（花き生産者及び養蜂業者）について、現地視察を行った。

現場では、大規模なハウスでの花き苗生産について、また蜂場での作業の実際や瑞浪市内に構えた店舗での商品の販売状況などの説明を受けた。いずれの青年農業士も会社経営者であり、規模や経営方針など、参考となることが多く中身の濃いものとなった。また、質疑応答では、従業員との接し方などについて活発な意見交換が行われ、会員相互の今後の経営の改善につながる情報共有ができたことは大きな収穫となった。



【養蜂の現場視察状況】